

# 第 198 回 競技委員会 議事録

1. 日 時 : 2009 年 3 月 4 日 (水) 17 時 45 分 ~ 19 時 00 分
2. 会 場 : 連盟本部事務局
3. 出席委員 : 清水康裕委員長、寺本直志、古田一雄、斉藤千鶴乃、西田奈津子  
田中陵華、仲村篤志  
以下委任状 : 平田眞、林伸之、佐々部君敏、山菅昭夫  
オブザーバー : 大政哲人  
委員総数 11、定足数 8、出席 11 (内委任状 4) で成立。
4. 議事の経過及び結果 : 清水康裕委員長を議長に議事を逐一審議した。

## 第 1 号議案 各小委員会報告

### ◎ MP(マスターポイント)小委員会報告

- チーム戦の固定 MP を、チーム当たり MP にするかプレイヤー 1 人当たり MP にするかについて。また、固定 MP の全体的見直しについて規則の大幅な改正が必要。見直しの是非を含め、継続審議とした。
- WBF 傘下各組織での獲得 MP 及び諸外国でのブリッジ経験者の MP について

1. WBF 傘下各組織での獲得 MP は既定の換算比に基づき、みなし MP として算出する。
2. プレイヤーはみなし MP による競技会参加制限を受ける。
3. みなし SP を以下のように規定する。

名称	JCBL換算MP	みなしSP	みなしMP
代表クラス World Class	5000 ~	300	5000
熟練者 Expert	1000 ~ 4999.99	100	1000
上級 Advanced	300 ~ 999.99	50	300
中級 Intermediate	100 ~ 299.99	15	100
初級 Beginner	20 ~ 99.99	5	20
入門 Novice	0 ~ 19.99	0	0

4. MP 制度の無い国でのブリッジ経験者には上記の表に基づき、審査によって適切なみなし SP、みなし MP を付与する。みなし SP、みなし MP は適時修正される可能性がある。
5. 複数のブリッジ組織での獲得 MP は合算する。
6. みなし MP を付与されたプレイヤーが JCBL の会友になったときには、JCBL MP は 0 から計算する。競技会参加資格については JCBL MP かみなし MP の多い方を適用する。
7. みなし MP が 20 点以上のプレイヤーは新人マスターポイントランキングの対象外とする。
8. みなし MP は各プレイヤーが管理し、競技会申込の時点で申告する。参加制限違反については所定の規則が適用される。

### ○ 国際試合での MP について

1. 国際公式試合の予選成績が JCBL RP に反映されない件について  
WBF 主催競技会は決勝ラウンドに進出すると 0 勝でも WBF MP が発行される。従って、予選の成績は JCBL RP に反映されている。  
一部の競技会に於いては決勝ラウンドに進出するだけでは WBF MP が発行されないことがある。その場合は、該当競技会で WBF が発行する最下位順位の MP の 60% を JCBL RP へ換算する。ペア戦に於いても同様に、参加者の上位 35% に対して MP を発行する。
2. 国際競技会に於いて年間獲得ポイントの対象となる競技会は、プレイヤー係数を一律に 6 人として計算する。
3. PABF 選手権及び PABF コングレスの固定 RP を予選決勝合算で以下の通りとする。最終順位は決勝ノックアウトラウンドの成績とし、予選落ちはラウンドロビンの成績に基づく。

PABF 選手権	720
PABF コングレス	480

◎ コンベンション小委員会報告

- ・ JCBL HANDBOOK コンベンションリスト、リストC、オープニングビッド 1.の 1 番目の小項目（アーティフィシャルでフォーシングなオープンであり～必ずしも強いハンドでなくてもよい）を削除。
- ・ 同レスポンスとリビッド、6 を「15HCP 以上の 1 の代のオープニングビッドと 2♣ 以上のオープンニングビッドに対するアーティフィシャルなコール」に修正。
- ・ 「オブビアス・シフト (Obvious Shift Principle)」シグナルについて  
林委員が HANDBOOK 用語集の解説執筆を担当。コンベンションリスト補足に、複数の意味を伝えるシグナルでは無いことを明記する。

第 2 号議案 JCBL HANDBOOK について

- JCBL HANDBOOK、会報記事、MP 規則改正文面は事務局で作成。  
e メールで各委員に通知して検討することとした。

次回競技委員会は 4 月 1 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上